

（日本海運組合横浜支部長）ハ海員代表交渉委員トシテ告  
月廿九日午後一時頃着京直ニ東京駅前日本興船會社  
ニ船舶部長小松原寛吉ヲ訪ヒ會見シ求メタル之並忙  
故ヲ以テ拒絶サレ其後神奈川（貢）横浜市自衛團  
相手三十日前十一時再ニ小松原船舶部長ヲ訪ヒ會見シ  
不祥事起在海員等ハ今固、航海手商半減内壁ニ付キ  
此際手商半減ハ吾人、生活ヲ尋常スル文ノナリ。シテ會社  
ノ不當ヲ鳴ニ昨夜神戸市港東俱楽部ニ海員數百名集  
会善後策ヲ快議ニタル結果自勿ハ海員十團ノ會見  
社セ。告ナタソ後手商半減、斧表ハ取消サレ更に年  
生ナタルニ對ニ小松原部長ハ今固、難題ハ因  
會社、損害ト海運界不混ニ因ル事業不振トニヨリ經費  
節約、必要上已シナキニ出ナタル文ノニシテ獨リ海員ハナラ  
ハ社長以下全體ニ對カリ向顕ナシテ以テ今更一部、不平  
アリトニテ取調又カ如キ事經對ニ不能ナリト答ヘタルニキラ  
ハ時ニ半減スルニ、為サス従是ニ減額セラレテ、如何ト會社  
圖ニ其讓歩ヲ通リタル元應セラレス會談約三時間ニシテ  
辭去既済（實參ハ）セリ

誠ニ本日年前十一時再ヒ末社小松原部長ト會見此際會  
社側ニ於テ凡事端ノ未判之件の意味於テ因滿解消、  
方法ニ出ナラレ度シト總該的ニ申出ナルカ今社ハ、如何ハ  
一應考査シ即ニ即ハ何乞、因名ヲ爲ス可シト告ナ會見  
終り年後四時辞去既窓セリ（神奈川貴翁下）  
如上、如キ状況ニシテ未タ具体的ノ讓歩を見ルニ至ラサル元  
本日、會見、結果ニヨ特ニ納罕ラ差起スル不ナク何等カ  
ノ方法ヲ以テ因滿ナル解決ヲ告クヘキ形勢ニ在リ